

みらいをつくる

発行: 泉佐野市教育委員会
教育部【2026年1月14日】

泉佐野市ジュニアICTリーダー (JIL) について

※Society 5.0時代の到来を見据え、教育委員会では2年前より「泉佐野市ジュニア ICT リーダー事業」を実施しています。本事業は、将来の持続可能な社会の担い手となる市内小中学生に対し、情報活用能力やメディアリテラシーの育成を図ることを目的としています。

【ジュニア ICT リーダー (JIL) プログラム 2025】

今年度も、本市がパートナー自治体プログラムに参画している Google より、認定トレーナーを講師としてお招きし、「ジュニア ICT リーダープログラム 2025」を開催しました。

1回目の8月30日(土)は、小学5年生から中学2年生までの20名が市役所会議室に集まり、学校で使っている Chromebook を活用して3時間のプログラムを受講しました。

2回目の12月7日(日)は、昨年度のジュニア ICT リーダーに認定された受講希望者3名も加わり、「私の好きな○○」をテーマに、前半は事前に準備してきたスライドをもとに、1回目で学んだ内容を思い出しながら個人やグループで内容や伝え方をブラッシュアップしていき、後半で発表を行いました。「チョコレート」「アーティスト」「アニメ」「猫」「カエル」「友達」「車」等、さまざまな○○に思いが込められた一人ひとりのプレゼンテーションの後には、工夫した点や良かった点をみんなで交流しました。

ジュニア ICT リーダーに認定されたみなさんの今後の ICT の積極的な活用と、ますますの活躍を応援しています。

参加いただいた保護者の皆様や学校の先生方もお疲れさまでした。

【ジュニア ICT リーダー (JIL) サミット 2025】

JIL プログラムは日本全国で実施されていて、今年度は20以上の自治体から多くのリーダーが誕生しています。

この度、全国からジュニア ICT リーダーが集うイベント「JIL サミット」が Google 主催で12月13日(土)に開催され、全国から多くの自治体が参加しました。

泉佐野市からは日根野小学校の2名と、佐野中学校の2名のジュニア ICT リーダーが参加しま

した。渋谷にある Google オフィスでは、サミット前にオフィスツアーやランチタイムがあり、参加者は初めて入るフロアのデザインや施設設備、35階からの眺めを堪能していました。

午後に入ると、いよいよサミットがスタート。各自治体が担当する国の大使になりきり、世界中の給食について話し合う模擬国連が行われました。参加者は担当する国について「調べる」「情報を集約」「他国の大使と交渉」「考えをスライドにまとめる」までを PC 端末を駆使しながら取り組んでいました。最後は、各国が給食憲章の提案をプレゼンテーションし、熱気に包まれたサミットが閉会しました。

早朝の出発から、遅い時間の帰宅となりましたが、貴重な体験をすることができました。

☆参加者の感想の一部を紹介します。

- ・東京行きの新幹線や人でいっぱいの山手線に乗ったり、Google 本社を見学したり、初対面の人とサミットをしたり、今までにすることがないことができて楽しかったです。
- ・模擬国連について詳しくなれたし、もっと世界の文化や、国連について詳しく勉強しようと思った。
- ・最初は不安もあったけど、みんな気軽に接してくれて緊張も少しほぐれて、将来のためになる本当にいい経験になりました。



長南小学校「タイピング記録会」 ～キーボードによる文字入力の向上をめざして～

12月20日(土)、土曜授業の日に長南小学校において「タイピング記録会」が行われました。

1時間目は高学年(5・6年生)の学級で実施。前半の文字入力練習の時間が終わり、いよいよ記録会が始まる時間が迫ると、子どもたちは緊張した面持ちで気持ちの準備をし、集中して先生のスタートの合図を待っていました。

2時間目は中学年(3・4年生)、3時間目は低学年(1・2年生)と続き、全ての学級で1人ひとりがパソコン端末のキーボードでの文字入力に真剣に取り組んでいました。

学校はこの日に向けて、ポスター等をとおして、早めに子どもたちにお知らせをし、本番までに練習ができるようにサイトを作成して、学校でも家庭でも練習の機会をつくってきました。

記録会が終わると、見事に目標を達成して「やったー!」と喜んだり、惜しくも届かず「次はもっと練習する!」と悔しさをにじませる子どもたちの姿が見られ、次回の記録会につながる充実した時間となりました。

